

令和4年度 保土ヶ谷図書館の事業

令和4年度は、当館の開館40周年（※1982（昭和 57）年5月開館）という、記念すべき年となりました。昨年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、次のとおり事業を実施してまいりましたので、ご報告します。

I 開館40周年事業

(1) 星川駅～天王町駅 連続立体交差事業ポスター展 [8月4日から16日まで]

令和4年3月に19年間にわたる工事が完了した星川駅～天王町駅間の連続立体交差事業に関連して、工事の進捗状況の広報用ポスター、広報誌等の資料、事業の解説パネルなどをまとめて見ることができるポスター展を開催しました。開催に当たっては相模鉄道株式会社や本市道路局建設課とも連携し、来場者からは「連続立体交差事業の大切さがよく分かった」、「踏切周辺の昔の写真が懐かしくて良かった」などのお言葉をいただきました。



当館の会議室で実施しました。



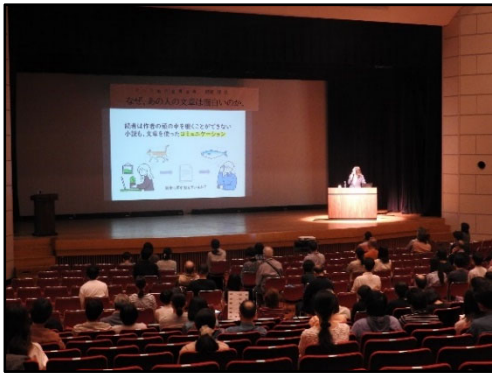
「そうにゃん」が応援に来てくれました！

(2) 記念講演会「なぜ、あの人の文章は面白いのか。」（保土ヶ谷区読書活動推進講演会）

[10月23日 参加者：108人]

読書活動推進講演会は、新型コロナウイルス感染症により講演会形式で実施することができない状況が続いていましたが、今年度は3年ぶりに開催することができました。講師には小説家の額賀滯さんをお招きし、人に伝わる文章の秘訣について、講演会とワークショップの2部構成で語っていただきました。参加者からは「すごく聞きやすく、小説の面白さを知ることができた」、「リモートワークにも活用できそうで良かった」などのお言葉をいただきました。

講演会のみ録画して3月末まで動画配信を実施し、約700回視聴されました。



講演会の様子



ワークショップの様子

(3) ストーリーテリング講習会 [①11月10日 ②11月24日 ③12月1日 参加者:各日11人]

ストーリーテリング(おはなしを覚えて、何も見ずに語って聞かせること)に興味があり、今後の活動に生かしたいという方を対象に、その手法だけでなく、楽しさ・奥深さを学んでいただくことを目的とした講座です。参加者のほとんどが初体験でしたが、「基本がよく分かった」、「今後も勉強を続けられてうれしい」などの感想をいただきました。講座終了後も希望者による勉強会を継続しており、将来の地域の読書活動の担い手としての活躍が大いに期待されます。



(4) テントのなかのおはなし会(ひとりでおはなしが聞ける子向け) [10月5日 参加者:6人]

いつもと違う「テントの中」という環境でおはなし会を開催することでワクワク感を高め、普段は参加しない子どもにもその楽しさを知ってもらうことを目的とした事業です。テントは2階屋上テラスに設営予定でしたが、天候の影響により、当日は会議室に設営しました。それでも非日常の空間が演出できたため、新しい参加者がおはなし会を知るきっかけを作ることができました。



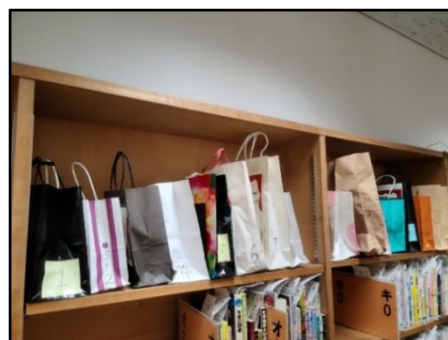
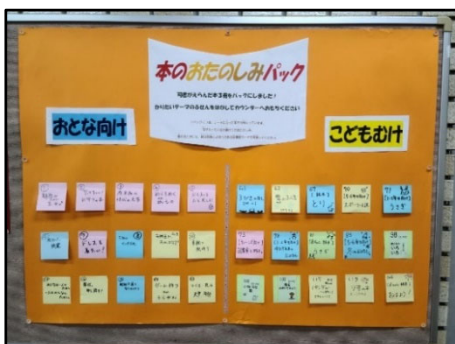
(5) 大人のためのおはなし会 [①10月27日 参加者:13人、②3月9日 参加者:15人]

絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど「耳からの読書」の機会を提供し、多様な読書の楽しみ方を提示することで読書活動への関心を喚起し、図書館の利用を促進することを目的とした事業です。読み聞かせボランティアとの協働で実施し、地域の読書活動の担い手のスキルアップにもつなげています。参加者からは「全部暗記するとは驚異的だ。おはなしの世界に引き込まれた」、「やはり生のおはなしは良いですね」などの感想をいただきました。



(6) 本のおたのしみパック [1月26日から29日まで]

司書が1つのテーマにつき3冊ずつ本を選んで袋に入れ、中が見えない状態でパックとして貸し出し、思いがけない本との出会いにより利用者に読書と図書館への関心を深めていただくことを目的とした事業です。大人向けと子ども向けで30パックずつ用意しましたが、最終的には大人向けが55パック、子ども向けが42パック借りられるほど好評でした。利用者から「絶対借りたかったので、まだあって良かった」、「子どもからぜひ借りてきてほしいと頼まれた」などの感想をいただきました。



各パックのテーマが書かれた付せんを館内の掲示板に貼り出し、カウンター内に保管したパックと引き換える仕組みです。

(7) 大人向け図書館ツアー [2月28日 参加者:15人]

普段は立ち入れない場所も含めて館内をご案内しつつ、併せて図書館の役割やサービスについて説明することで、当館に親しみを持っていただくことを目的とした事業です。参加者からは「思ったより少人数で運営していることが分かり、感謝の気持ちが湧いた」、「色々楽しく学べ、新たな活用法も知り有意義だった」などの感想をいただきました。



2 定例事業

(1) 企画展示

利用者に新たな本との出会いを提供することを目的とした事業です。令和3年度から3階の通路に大きな展示架を設置し、毎月司書がテーマを決めて選んだ大人向けの図書を展示しています。見通しの良い場所のため多くの利用者が足を止めて展示を眺め、気になった本を手にとって読んだり、そのまま借りたりしています。

〈実施した企画展示〉

- 4月「祝 大河御出演 和田義盛公 畠山重忠公」
- 5月「五月病に負けない!」
- 6月「みなと横浜」
- 7月「生誕 160 年・没後 100 年 森鷗外」
- 8月「あの戦争を考える」
- 9月「ともに暮らそう認知症」
- 10月「開館 40 周年記念講演会 講師額賀澗さん
関連図書展示」
- 11月「家族で考えよう わたしの“これから”」
- 12月「あの人を悼む、あの人を偲ぶ。」
- 1月「ビートルズ・ポターの世界」
- 2月「甘いものはいかがですか?」
- 3月「新生活のあなたへ」



9月の展示の様子



10月の展示の様子

2階の児童フロアでも同様に、既存の書架の空きスペースを活用して展示を実施しています。季節に合わせてテーマを変え、夏休みには学年別に横浜市立図書館がおすすめする児童書を展示するなどしています。

なお、区の読書活動推進事業の一環として、3月には新たに専用の書架を設置しました。

(2) 定例おはなし会 [毎月第1・3水曜日]

一人でおはなしを聞くことができる幼児から小学生を対象とした、読書活動の推進と図書館利用の促進を目的とした事業です。3月末時点で、合計 15 回(夏休みの特別おはなし会2回、生きもののおはなし会1回を含む)開催しました。

(3) 親子おはなし会 [毎月第3木曜日(各日2回)]

0歳から2歳までのお子さんと保護者を対象とした、読書活動の推進と図書館利用の促進を目的とした事業です。わらべ歌や絵本の読み聞かせを親子で楽しむ会として、感染防止対策を講じて実施しています。お子さんと一緒に外出する機会が限られていたこともあり毎回盛況で、多くの方に参加いただきました。

(4) 図書館のお仕事体験(一日図書館員) [7月27日、28日、29日 参加者:計23人]

小学生1年生から4年生までを対象に、図書館の業務や仕組みの学習や仕事体験を通じて、図書館の魅力を伝えることを目的とした事業です。実際にカウンターに立って行う貸出・返却の実習や、普段は入れない場所も含めて館内見学をするプログラムが特に好評でした。

毎年恒例の事業で、いつも大変人気があります。令和3年度から電子申請を利用した抽選制を実施していますが、今年度は148名もの方々にご応募いただきました。



カウンター実習の様子



返却ポストの中を見学中

(5) 図書館の仕事体験(中学生・高校生向け) [8月9日、10日 参加者:計7人]

中学生から高校生までを対象に、図書館の業務の学習や仕事体験を通じて、図書館の魅力を伝えることを目的とした事業です。本や図書館に興味を持ち、将来の仕事について考えている生徒に多く参加していただき、司書の仕事を具体的に体験してもらえ、良い機会となりました。

(6) 図書館 de YES 海藻の「おしば」づくり [8月2日 参加者:9人]

小学3年生から6年生までを対象に、海藻を使った「おしば」づくりをとおして海や自然環境の保護と維持の大切さを学び、興味を喚起することを目的とした事業です。海藻おしば協会の方を講師に迎え実施しました。令和3年度から実施している事業ですが、参加者は今年も楽しんで

「おしば」作りに励んでいました。



事前説明の様子



「おしば」作りの様子

3 保土ヶ谷区読書活動推進事業

(1) ブックマーケット(本の無料市) [5月21日 ※『ほ도가や花フェスタ』内で実施]

区民に本をきっかけとしたコミュニケーションの機会を提供することを目的とした事業です。事前に集めたリユース図書を、簡単なアンケートに回答した来場者に自由に選んで持ち帰っていただきました。初めて実施する事業で、来場者の目標数は70人としていましたが、アンケートの回答者数はそれを大きく上回る443人で、配布した本の冊数も約600冊と大変好評でした。



設営したブースの様子



多くの方にご来場いただきました。

(2) 子ども向け紙芝居口演 [10月29日 ※『ほ도가や区民まつり』内で実施]

区民に本に親しむきっかけを提供することを目的とした事業です。地域の読書活動の担い手である「ほ도가やえかたりーべ」のみなさまに御協力いただき実施しました。保土ヶ谷区の昔話や伝説を題材にしたオリジナルの紙芝居を10点ほど代わるがわる口演していただき、どの回の参加者も興味深そうに聞き入っていました。



テントの外に立ち見が出る回も。



口演の様子

(3) 一緒に声をだそう! 音読の会 [12月9日 参加者:11人]

司書が詩や絵本から文章を選んで作成したテキストを一緒に声を出して読んで楽しみ、読書の新たな魅力に気づいていただくことを目的とした事業です。実際に声を出すこともあり、通常よりも十分な間隔をとり感染防止対策をして実施としました。参加者からも、この状況下で安心して声を出すことができたと評価され、「家でも音読したい」といった感想もいただきました。



(4) 保土ヶ谷区読書活動推進講演会(再掲)

(5) ストーリーテリング講習会(再掲)

(6) 大人向け図書館ツアー(再掲)

(7) 企画展示(再掲)

4 広報事業

(1) 子どもと読もう 今月の1冊

『広報よこはま ほどがや区版』に掲載している絵本の紹介コラムです。令和3年の1月から掲載を開始し、大人と子どもと一緒に楽しめる絵本を、司書が毎月1冊選んで記事を執筆しています。令和3年1月号から3月号までは試行実施していましたが、多くの読者に向けて絵本の魅力を伝えられる意義は大きく、令和3年4月号から正式に実施しています。

当館の2階児童フロアではコラムで紹介した絵本を月ごとに展示して、利用者が手に取って読んだり、借りたりできるようにしています。

(2) 横浜ケーブルビジョン

当館の事業予定を積極的に情報提供した結果、同局の情報番組『地域情報便 じもっと!』内で3つの事業の様子が紹介されました。

放送日	取材を受けた事業
2022年8月5日(金)から 2022年8月9日(火)まで	図書館のお仕事体験
2022年8月9日(火)から 2022年8月12日(金)まで	海藻の「おしば」づくり
2022年10月28日(金)から 2022年11月1日(火)まで	開館40周年記念講演会(保土ヶ谷区読書活動推進講演会) 『なぜ、あの人の文章は面白いのか。』

(3) タウンニュース

当館の事業予定を積極的に情報提供した結果、イベント情報が12回掲載されました。

掲載時期	記事タイトル
2022年4月7日号	講座を動画配信 中止事業の代替として
2022年4月21日号	「鎌倉殿」コーナー好評 4月末までの月替わり企画
2022年5月5日号	保土ヶ谷図書館の「ティーンズコーナー」、じわり人気 (※Web限定記事)
2022年5月19日号	保土ヶ谷図書館 5月で開館40年 記念の垂れ幕など設置
2022年5月26日号	心の疲れに一冊を 図書館に五月病対策コーナー
2022年6月16日号	横浜市保土ヶ谷図書館の月替わりテーマ展示、6月は「みなと横浜」 (※Web限定記事)
2022年6月23日号	保土ヶ谷図書館で小学生対象の一日仕事体験参加者を募集中 (※Web限定記事)
2022年8月11日号	相鉄線星川～天王町高架化のあゆみ振り返る 保土ヶ谷図書館で 8月16日までポスター展(※Web限定記事)
2022年8月25日号	子どもの本なら保土ヶ谷図書館 絵本など充実、リストも
2022年9月29日号	人気小説家が講演会 保土ヶ谷図書館40周年記念で
2022年12月15日号	「文章術」動画で 保土ヶ谷図書館が公開
2023年1月26日号	「お楽しみパック」貸出し

(4) ツイッター

保土ヶ谷区役所及び横浜市立図書館 Twitter に、イベント・企画事業の情報掲載を計16回行いました。

5 「図書館への意見・提案」

利用者の意見・提案等を館運営の参考にするため、館内に投書箱と用紙を設置しています。今年度は10件の投書をいただきましたので、代表的なものをご紹介します。

〈例1〉

意見「除菌機の近くに荷物まとめ台を置いてほしい。」

(対応) 除菌機の位置をずらし、荷さばき用のスペースを設置しました。

〈例2〉

意見「ウォシュレットを設置してほしい。」

(対応) 故障した便器の修繕に合わせて1台を交換できるよう調整中です。

〈例3〉

感想「3階の企画展示はとても良い発想です。思わず足を止め、手にとって読みたくなります。

戦争特集もとても良かったです。今後も時節に合わせての企画展示、期待します。」